



はじめに。

本町では、平成 15 年に都市計画マスタープランを策定し、緑豊かで快適性を備えた質の高い生活環境の実現を目指し、まちづくりを進めてまいりました。

しかし、地方分権の進展に伴う都市・地域間競争の激化、少子高齢化の進行、地球環境問題の顕在化に加え、長引く景気の低迷による厳しい財政運営など、多種多様な課題が山積している状況にあります。これらの課題等を克服しながらさらなる町政の発展を図るため、「町内全ての地域で、子どもから高齢者にわたるあらゆる世代・人が、そしてこれから大和町に移り住む人たちもみんなが、誇りと愛着を持って住み続けられる町の実現」を基本理念とする大和町第四次総合計画を策定しました。

また、国や県の都市計画においても、社会全体の大きな動向を踏まえながら、「拡大基調」の市街地形成から「集約市街地」の形成に都市づくりの考え方を転換してきています。

これまで培ってきた風土や歴史を基本に、総合計画に掲げる基本理念や都市づくりの新たな方向性を踏まえ、町民や事業者の皆さんと協働のまちづくりを進めていく今後の都市づくりの指針として、新たに「大和町都市計画マスタープラン」を策定いたしました。

特に、未来を開く先端技術産業や自動車関連産業の立地など、本町を取り巻く環境は大きく変わりつつあり、県内有数の工業出荷額等を有する「みやぎの中核都市・大和」の実現に向けて、さらなる工業・流通業務機能の集積など、本計画に基づき今後とも持続的な発展を目指してまいります。

終わりに、計画の策定にあたり、貴重な御意見や御提案をいただいた町民や大和町都市計画審議会の委員の方々に対し、心から深く感謝とお礼を申し上げます。

平成22年9月

大和町長 浅野 元